

令和5年度

糸島市未来の地域リーダー
育成プログラム活動報告書

主 催：糸島市未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
事務局：糸島市生涯学習課内
〒819-1192 福岡県糸島市前原西一丁目1番1号
TEL 092-332-2092

令和5年度

糸島市
未来の地域リーダー
育成プログラム活動報告書



はじめに

福岡県と糸島市で構成する「糸島市未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会」では、将来さまざまな分野で活躍するための意識付けを目的に令和5年度から「糸島市未来の地域リーダー育成プログラム」を実施しています。

このプログラムでは、地域に縁のある各界著名人等による実体験を交えた講義・体験活動・グループワーク等で、構成する合宿型リーダー育成プログラムを実施するものです。

また、他の中学校の生徒とコミュニケーションを図り、志を高め合いながら合宿生活を通じて、リーダーとなるための心構えを学ぶことができます。

プログラムの実施にあたっては、地域の多様な団体と連携して、子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、将来を担う次世代のリーダーとしての資質や社会性を身に付けることができるように人財を育成していきます。

もくじ

プログラム概要	01
講師プロフィール	02
活動報告	03
作文紹介	07

プログラム概要

①主催	糸島市未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会（糸島市・福岡県）
②後援	福岡県教育委員会
③開催日程	【第1回目】令和5年12月23日（土）～24日（日）1泊2日 【第2回目】令和6年1月27日（土）～28日（日）1泊2日 【第3回目】令和6年2月18日（日）1日間
④会場	糸島市役所、サイエンス・ヴィレッジ（はじまりの地）、九州大学伊都キャンパス、前原コミュニティセンター、㈱ALOHAPLAN、㈱百笑屋、㈱やますえ、㈱イトキュー、㈱まんま、合同会社よかごつ、㈱スチームシップ
⑤参加状況	糸島市在住の中学1・2年生 17名（男子8名 / 女子9名）
⑥プログラムの概要	(1) 講師陣による講義 (2) フィールドワーク（現地研修） (3) グループワーク (4) グループ発表
⑦研修テーマ	20年後の私たちを想い描く

講師プロフィール

原口 唯氏

株式会社 YOUI
代表取締役

糸島市で育ち、2011年に九州大学芸術工学府修了後、都市開発コンサルティング会社、自治体シンクタンクを経て、2017年に社会価値提案のコンサルティング会社「株式会社 YOUI」を設立。2021年度からは長崎大学でも勤務し、福岡と長崎の2拠点居住している。
※コーディネーター兼任



平野 友康氏

株式会社メタコード
代表取締役社長

2023年に糸島サイエンス・ヴィレッジのまちづくり事業を行う株式会社メタコードを設立。一般社団法人SVI推進協議会理事就任を機にハワイから糸島に移住。専門はソフトウェア開発。過去にネットライブ中継のプロデュース、ラジオ番組のDJに携わっていた。



金子 晃介氏

九州大学
学術研究・産学官連携本部 准教授

九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（QREC）にて、アントレプレナーシップ教育と研究に従事している。2014年に九州大学大学院システム情報科学府に於いて博士号を授受後、情報科学分野での研究者の経験を経て2021年から現職に至る。



山根 春佳氏

九大公認サークル地域活性化団体
iTOP

長崎県諫早市出身。九州大学工学部土木工学科の学部3年生。九州大学学生主体のまちづくり団体、iTOP（アイトップ）に所属し、「学生と地域をつなぐまちづくり」をキーワードに糸島市の前原などで活動している。2023年1月より第13代代表に就任。



田北 雅裕氏

九州大学大学院
人間環境学研究院 専任講師

まちづくりとデザインを切り口に様々なプロジェクトに携わる。現在は、コミュニケーションデザインの観点から、主に子ども家庭福祉の課題を乗り越えていくための実践・研究に取り組んでいる。



藤田 龍介氏

九州大学大学院
農学研究院 准教授

兵庫県出身で、生物学を学ぶために北海道大学農学部へ。そこで博士号を取得し、国立遺伝学研究所や国立感染症研究所で研究員をしながら修行を続ける。全国を転々とした後、2018年から九州大学にきて、衛生昆虫学研究室を主催するに至る。



平田 一茂氏

株式会社ジコウ
代表取締役

1991年神奈川県生まれ。株式会社ベネッセコーポレーションに新卒入社。九州エリアの中学・高校生へ進路情報を提供。その後人材業界等を経て、2021年に株式会社ジコウを糸島で創業。「はたらくおとなの創意工夫に貢献する」をビジョンに事業を展開。



林 憲治氏

株式会社 ALOHAPLAN
代表取締役社長

1961年生まれ。サーフィンと海好きが高じて、1990年福岡市西区の海岸沿いに、「SUNSET」をオープン。1993年より、SunsetLiveをスタート。現在「SUNSET」、鯨「空-ku-」、「CURRENT」、「HIDEAWAY sunsetcamp」を運営している。



松崎 治久氏

株式会社百笑屋
代表取締役

20歳で農業に就く。畜産堆肥を独自にブレンドし、米麦大豆の減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいる。米・納豆・餅などの加工販売を行い、家族全員に社員を加えた家族農業に近い農業経営を営みつつ、農業イベントやドローンを含め新しい試みも行っている。



馬場 孝志氏

株式会社やますえ
代表取締役社長

糸島市泊出身。1975年生まれ。1997年㈱やますえ入社。営業として経験を積み、業績を上げる。2013年に故郷糸島へ本社を移転し、2015年代表取締役社長就任。明太子メーカーとして独自の味と品質を追究しながら、地域食材を広く届け、特産品を活かした商品開発で糸島を伝えることを目指す。



中原 理臣氏

株式会社イトキュー
代表取締役社長

糸島市出身。専門学校卒業後、愛知県へ就職し10年間プラスチック製造工場での人生の修行。30歳で地元糸島へ戻り実家の運送業を後継者として就職。38歳で二代目として社長就任。生まれ育った地元糸島をこよなく愛し、仕事を通じて地域の為に出来る事を全力で取り組んでいます。



大堂 良太氏

合同会社よかごつ
代表社員

熊本出身。九大院修了後、総合商社勤務を経て、2017年に糸島移住。現在、地域交流型学生寮「熱風寮」や起業家シェアハウス等7棟を展開しつつ、前原に棚オーナー制古書店（通称）糸かお、新スタイル駄菓子屋トムソー屋などを運営。若者育成や地域づくりが軸。



中村 真紀氏

株式会社まんま
代表取締役

2020年に東京から糸島に移住。前原商店街の「糸島の顔が見える本屋さん」の共同運営、「一般社団法人いとしまワインプロジェクト」の活動などに加え、市外のクライアントさん向けのオンライン・対面でのコーチング、経営アドバイスなども行っている。



藤山 雷太氏

株式会社スチームシップ
代表取締役

九州大学卒業後、2008年株式会社ディー・エヌ・エーに入社。東日本大震災を契機に佐賀県へUターンし、2017年地域の宝探しカンパニー Steamship を創業。「地域から、未来を変えていく」というミッションのもと約200名のクルーと航海中。





令和5年度 糸島市未来の地域リーダー 育成プログラム

12/23
講義録

スケジュール

11:10～ 講義① 原口 唯氏
12:00～ 昼食
13:30～ 講義② 平野友康氏
15:00～ 講義③ 金子晃介氏
18:00～ 夕食
19:00～ グループワーク

研修一日目。講義①は株式会社YOUI代表取締役の原口唯氏による「見えない未来のを見つけ方～フィールドワーク入門～」というテーマの講義でした。この講義では、フィールドワークの基礎として、心が動いたものを記録し、その理由を考え、班の人と共有して感動を豊かにするという一連の流れを教えて頂きました。

講義②は、糸島市役所から会場を移動し、サイエンスヴィレッジ(はじまりの地)にて(株)メタコード代表取締役社長の平野友康氏による「糸島のSVIまちづくりにおける夢と想いと具体策」というテーマの講義でした。平野氏らが目指しているのは、九州大学伊都キャンパスの西に位置するエリアで、大学と連携し、研究を重ねながらゼロからまちを創るというものでした。

講義③は、九州大学にて准教授の金子晃介氏とQRECに所属する九大生による「地域の課題解決とアントレプレナーシップ」というテーマの講義でした。はじめに、金子氏より九州大学とQRECの紹介を頂き、大学生活とはどんなものかをお話して頂きました。次に学生がQRECで活動している三つの研究について紹介されました。一つ目は、規格外農産物を用いたサングリアシロップの販



開講式 (12/23 9:30～)

今年度から開始した糸島市未来の地域リーダー育成プログラムに、研修生たちが少し緊張した面持ちで糸島市役所の会場に集合しました。開講式終了後、アイスブレイクにより緊張をほぐして、オリエンテーションを行い、「班長・副班長決め」や「研修のめあて」を決めました。



売によるソーシャルビジネス。二つ目は、ウニを捕獲する罠を用いて糸島の海に生息するウニの量の調整。最後の研究は、空き家問題解決のためにヴァーチャルの起用というものでした。DAOといった専門用語が並び、少し難しい内容でしたが、研修生はわからない単語はすぐ質問し、よく理解しようとする姿勢が多く見られました。

12/24
講義録

スケジュール

9:20～ 講義④ 山根春佳氏
10:20～ 講義⑤ 田北雅裕氏
11:20～ 講義⑥ 藤田龍介氏
12:10～ 昼食
13:10～ 講義⑦ 平田一茂氏
14:30～ グループワーク

研修二日目。講義④は、九大公認サークル地域活性化団体iTOPのメンバー、山根春佳氏による「九大学生から見た糸島の魅力と大学生にできる地域へのアクション」というテーマの講義でした。自身の大学の時間割や授業内容をもとに、実際の大学生活について中高生との過ごし方の違いや、サークルなどによる時間の活用の仕方を紹介されました。

講義⑤は九州大学大学院人間環境学研究院の専任講師田北雅裕氏による「橋の下から考える」というテーマの講義でした。この講義では、学生時代にどのような考え方や興味、進路が変化したのか、あるいは譲れなかった部分についてご自身の人生経験を教えて頂きました。

講義⑥は、九州大学大学院農学研究院の准教授藤田龍介氏による「媒介感染症のプロになるまでの道のり」というテーマの講義でした。藤田氏は、中学生時代は科学者を目指していたそうですが、実際には生物学の研究者となり、全く違う専門分野の研究をしていると話して頂きました。研究者になってからのお話の中で、「ラボ」というチームで活動してきた経験を基にリーダーとしての在り方を教えて頂きました。

講義⑦は、株式会社ジコウ代表取締役の平田一茂氏による「糸島の日常からはじめるリーダーシップ」というテーマの講義でした。

平田氏は、別の職業への転職などの経験を基に、夢の叶え方についてお話頂きました。この講義では、途中で二人組を作り、ワークに取り組む時間がありました。そのワークでは、「最近嬉しかったこと」「最近ハマっていること」などを相手に伝え、自分自身を詳細に見つめ直すというものでした。



1/27
講義録

スケジュール

9:30～ 受付
10:50～ 講義⑧ 林 憲治氏
12:20～ 昼食
13:10～ 講義⑨ 松崎治久氏
14:40～ 講義⑩ 馬場孝志氏
15:50～ 講義⑪ 中原理臣氏
18:00～ 夕食
19:00～ グループワーク



研修三日目。講義⑧は、株式会社ALOHAPLAN代表取締役社長の林憲治氏による「自分らしく生きること」というテーマの講義でした。

人々が楽しめるだけでなく、糸島の海辺の自然環境を守る啓発のために始めたサンセットライブへの熱い想いを聞き、自らの経験から「まずは自分のことをよく知って欲しい。自分の好きな分野で思いっきり行動してほしい。」と研修生に向けて人生を豊かにするアドバイスを頂きました。

また、林氏が自ら開拓している広大な敷地で研修生は放牧している動物たちと触れ合い、山の澄んだ空気を吸いながら、改めて糸島市の自然の豊かさを感じることができました。

講義⑨は、株式会社百笑屋に移動し、代表取締役の松崎治久氏による「糸島地域における農業」をテーマにこれまでの百笑屋の歩みとこれからの挑戦についての講義でした。研修生からの「リーダーになってから大切にしていることは何か。」という質問に対し、『自分がやってやる！』という強い気持ち、そして周りの方々と助け合うこと。と、これから未来のリーダーになるための貴重な助言を頂きました。

また、講義だけでなく、昼食も用意していただき、百笑屋で採れた新鮮な野菜、炊き立てのご飯、しし汁を食べることができました。研修生からは「美味しい！」と声上がり、心だけでなく身体も温めることができました。

講義⑩は、株式会社やますえに移動し、代表取締役社長の馬場孝志氏による「汗を流し、知力を高め、つながりを広げる」というテーマの講義でした。

糸島の旬の食材を全国に届けたいという夢の実現の



1/27
講義録



ために、休日直売所の調理場に出向き、旬の魚をさばく姿や、YouTubeチャンネルにも力を注ぎ、糸島の魅力を情報発信する姿から、研修生は耳にした情報を信じるだけでなく、実際自分の手で感じ、自分の言葉で伝えることの大切さについて学ぶことができました。

講義⑩は、株式会社イトキューに移動し、代表取締役社長の中原理臣氏による「今の自分に出来る事が未来を作る」というテーマの講義でした。

学生時代、家族の仕事の手伝いを通して、得た気づきから、「人の役に立つことを率先して行って欲しい。夢と希望を持ち、日々の努力の積み重ねが将来を創っていく。」というお言葉を頂きました。

自らの体験談も踏まえた夢の実現に近づくヒントをたくさん教えていただき、研修生にとって将来、どういう大人になりたいか考える貴重な時間となりました。

1/28
講義録

スケジュール

9:40～ 講義⑫ 中村真紀氏
10:50～ 講義⑬ 大堂良太氏
12:10～ 昼食
13:10～ 講義⑭ 藤山雷太氏
14:30～ グループワーク

研修四日目。講義⑫は、「糸島の顔が見える本屋さん」にて株式会社まんな代表取締役の中村真紀氏による「自分とつながる/他人とつながる」というテーマの講義でした。元は外資系スーパーの社長を務めておられた中村氏は、糸島へ遊びに来た際に糸島を大変気に入って移住したのだとお話されていました。

講義⑬は、合同会社よかごつ代表の大堂良太氏による「糸島の中心市街地活性化における“誰でもできる”民間主導のアプローチについて」というテーマの講義でした。この講義では、大堂氏が運営する事業をフィールドワーク形式で三つ紹介して頂きました。一つ目は、前原商店街の中心に位置する「新スタイル駄菓子屋トムソー屋」。店内には、駄菓子だけでなくレンタルスペースや一日だけ誰でも出店できるチャレンジスペースというのが用意されていました。二つ目は、前原西にある「起業家シェアハウス熱風寮」を案内して頂きました。三つ目は、「糸島よかところポ」です。ここは、シェアオフィスとコワーキングスペースになっており、ラボが属する建物の最上階には現在準備中の工作部屋もありました。

講義⑭は、株式会社スチームシップ代表取締役の藤山雷太氏による「地域の宝探しカンパニー～創業6年で地域に約600億を生み出す仕事～」というテーマの講義でした。藤山氏からは主に資産運用について、研修生たちに向けて「複利の力はすごい」というアドバイスを頂きました。いかに早い時期から積み立てを行うといいかを具体的にわかりやすく説明され、研修生たちも真剣な表情でお話に聞き入っていました。

質疑応答では藤山氏自身についての質問が多く、最後の講義ということも相まって研修生たちも積極的な姿勢を見せていました。



2/18
グループ
発表

スケジュール

9:30～ 受付
10:20～ グループ発表準備
12:10～ 昼食
13:10～ グループ発表準備
14:20～ グループ発表



研修五日目。グループ発表は、これまでの研修を踏まえて班毎に発表をしました。

発表には、保護者の方々にも参加していただき、研修成果やこれからリーダーになっていくお子さんの姿を見ていただきました。また、質疑応答では実行委員から質問が出る等、活気のあるグループ発表となりました。

閉講式
(2/18 15:20～)



研修生17名が5日間のプログラムを受講し、無事に修了することができました。閉講式での研修生の緊張していた表情から一変し、これからのリーダーとして活躍できる、たくましく、誇らしい姿になっていました。閉講式終了後、研修生たちは、お互いを高めながら過ごしてきた5日間を思い、別れを惜しみつつ、解散となりました。



グループ発表のまとめ

1
班

九州大学において、糸島の海藻減少問題に取り組んでいるグループの研究発表を受けて、地域リーダーとは「地域の環境問題を解決してくれる人」だと気付くことができました。

また、20年後の糸島市の発展に向けて自分たちに何ができるか考えた時に、新たなまちづくりプロジェクトである「SVI」や、まちに賑わいをもたらす「サンセットライブ」で活躍している講師の姿を見て、自分の好きなことや得意な分野で地域貢献をしていきたいと思いました。

そして糸島市の魅力をSNSで発信していき、楽しみながら働く人を増やしたいです。

2
班

講師陣に共通していると感じたリーダー像は「決断力があること、責任感が強いこと、夢があること、自分に自信があること、自分に正直なこと」でした。

様々な分野で活躍している講師陣の地域に対する熱い想いを受けて、私たちは糸島市に住んでいるからこそ自然の豊かさや、住みやすいまちであるという魅力に気付いていなかったことが分かりました。今後は地域の魅力に気付いて、SNSで世界へ発信していきたいです。

そして20年後は地域と深く関わる人が増え、市民と企業が協力し、『伊都菜彩』のような長く愛される場所が増えてほしいです。

3
班

これから自分たちが目指すリーダーを考える際のポイントとして、『行動・取組』『仲間との関わり方』『考え方・能力』と大きく3つに分けてグループ内で話し合いました。

20年後の糸島市に向けて、私たちに何ができるか考えた時に、地域に密着した事業を起こしたいという意見がグループ内で出ました。20年後に実現可能なものが協議を重ねましたが、最終日までには答えを出すことはできず、悔しかったです。しかし、グループの全員が心躍らせながら、たくさんの意見が出て有意義なグループワークができたことは良かったです。

4
班

リーダー像について、プログラムの参加前は、「上の立場から指示を出す」「臨機応変にトラブルに対応できる」「みんなをまとめる」というものでしたが、講師陣のお話を通して、「目標を持っていて、対等な立場から指示を出す」「相手が喜んでいて姿を見て自分の仕事にほこりをもっている」というものになりました。

また、20年後に住みやすく、笑顔溢れる明るい糸島市にするためには、糸島の新鮮な野菜や豊富な魚介類を多くの人に周知する必要があると考えました。自分たちにとって身近なYouTubeで糸島市の魅力を伝えていきたいです。

作文紹介「20年後の私」

育成プログラム 1班

育成プログラム 2班



糸島市立福吉中学校
佐藤 音 緒

私は今回の研修でメンバーをまとめることの大変さを改めて実感したと同時に、全員の意見をまとめたり、発表の方針を決めたり、すれ違っていたり意見があわないことも多少あったけど、それも含めて一つの学びだと思いました。また、学校という小さな枠から出て、学校も年齢も違う全く知らない人と話すことで、多方面からの考えや、捉え方を交流できたのでよかったです。

私はこの貴重な経験を今後の生徒会活動や話し合いの場に活かしていきたいです。そして、中学、高校、大学で今回の研修でたくさんの方から聞いたことや、グループワークや発表を通して知ったこと、学んだことを活かして自分のやりたいことを見つけて、20年後は講師の方々のように自分のやっていることを堂々と話せる、みんなから信頼され、気軽に頼れるようなリーダーになりたいです。



糸島市立前原東中学校
吉川 美 緒

この未来の地域リーダー育成プログラムを通して私は、仲間や関わってくれる人を大切にすることを学んだ。

一つは、リーダーになるために「自分だけがいい」ではなく、「仲間や関わってくれる人もいい」にすることだ。例えば、会社の社長だったら、社員に「この人についていきたい」と思ってもらえないといけないと思った。

他にも「買いたい」や、「サービスを受けたい」と思ってくれる人がいないと会社ができない。だから、私がリーダーになったときは、未来の地域リーダー育成プログラムで学んだことを活かして、他の人にはできない仲間思いのリーダーになっていきたい。そして、20年後にはその力を使って糸島をもっとたくさんの人が遊びに来てくれるまちにしたい。



糸島市立前原西中学校
田中 真 音

私がこのプログラムで学んだ事は2つあります。1つ目は糸島市の姿です。私はずっと糸島市で生まれ育ってきたけれど、糸島市の良い所や課題について考えたことがありませんでした。ですが今回のプログラムを通じて、九州大学と様々な分野で協力していることや、糸島市には海も山もどちらもあり自然豊かで漁業も農業も盛んであることなど良い所を知りました。その一方で磯焼けによる漁業の被害や空き家が増えている問題など、課題もあることを知りました。

2つ目は糸島市をより良くするために活動しているリーダーの存在です。リーダーさんはそれぞれが自分の好きなこと、興味のあることを追求し、糸島をより良くしていく活動をされていました。糸島市には様々な良い所も課題もあるけれど、リーダーさんが中心となり、それぞれが得意な分野で課題を解決していこうと努力されている姿を見て、私もいつか自分のできる範囲で糸島市をより良くする活動ができると良いなと思いました。

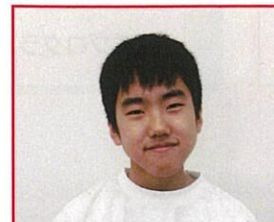
20年後の自分を具体的に想像する事はできませんが、これからはもっと糸島のことを知って、いろいろなことに挑戦してみたいです。



糸島市立前原西中学校
内田 金 志 郎

ぼくがこの研修を通して学んだことは、二つあります。一つ目が並行思考です。理由は、藤田龍介さんが、「一度に二つのことをし、一度に三つのことをできるようにする」という、効率を求めるやり方を学びました。これをできるようにするにはまず、勉強で声を出しながらしたり、簡単なことから難しいことに変えていくと、できるということを知りました。二つ目は、目標を決めることです。理由は、百笑屋さんが、奉仕、健康、成長、協力の4つの目標を決めて取り組みを行っていたからです。

ぼくは、これらを学んで、いろんなことをしていくうえで、目標を決めそして、効率を求めて過ごしていきたいです。20年後ぼくは、糸島市に居ても居なくても、常にその地域のことを考え、誰からも必要とされ、信頼される人になりたいです。



糸島市立前原中学校
丸山 煌 月

今回の研修では、いろんな方々から貴重な話を頂き、その講義から学んだことが2つあります。一つ目は、糸島には、まだ改善すべきところがあり、そのためにいろんな人たちが糸島の活性化を目指すために努力して、その活動が成功できるように、自分達でボランティア活動を積極的に行うことです。

二つ目は、糸島の未来を創っていくために、糸島の中でのイベントをもっと増やしたり、糸島の各地でフェスを開催したりすると、糸島の未来が豊かで県外や国外の方から、「この糸島っていい所、楽しそうだし、行ってみたい!」と思って、観光客が集まる街になると思います。この学んだことを活かしてボランティア活動を積極的にしていきたいです。

僕の将来の夢は歌手になることで、20年後になったら、この糸島(故郷)の魅力を歌詞にして、伝えていく有名な歌手になりたいです。



糸島市立前原西中学校
吉野 英 朗

ぼくがこのプロジェクトに参加してみようと思ったきっかけは、友達に誘われたのと、このプログラムの案内を見て、糸島には色々な社長さんたちが居るんだろうと思い、参加してみました。

この研修をふり返って学んだことは、どの会社の社長さんも、糸島のために、糸島のことを考えながら、それぞれの会社の特徴を活かして活動しているということです。

この研修で学んだことをいろんな人に広めて、糸島の農産物、海鮮、名物などの紹介などで、今からでも糸島のためにできることを考え、仲間と協力して実行していくようなことで活かしていきたいです。

20年後には、自分なら糸島は自然に恵まれているので、キャンプができるような所かフォレストアドベンチャーなどをSNSで外に発信していき、糸島に今よりももっと観光客が来て、糸島を好きになってもらえるように努力し、糸島のためにできることをしていきたいです。



糸島市立二丈中学校
井上 魁 人

リーダー育成プログラムの研修で色々なリーダーの方達の話聞く事が出来ました。皆さん、糸島の事が好きで、糸島を良くしようとされていた所が凄いなと思いました。私は、糸島に来て6年になりますが、まだまだ知らない事が沢山あるなと思いました。私が今、貢献出来るのは、地域のお祭りに出たり、スポーツ行事に参加する事です。これからも自分に出来る事を見つけて、糸島の良さを発見して行きたいです。

20年後の私はどうなっていたいか、まだよくわかりませんが、好きな事を見つけて、それが周りの人の役に立つような事だったり、喜んで貰えるような事をしていたいと思います。



福岡舞鶴誠和中学校
和田 瑠 愛

私は、この研修を通して、「自分」という存在の大切さに興味を惹かれました。

講師の方々、様々な講義を聞き、一番感じたのは、好きな事をする為に努力をしているという事です。まず、好きな事を知る為には、「自分」を色々な角度から見ることがあります。そして、嫌な事、苦手な事も全て「自分」で受け止め、理解することが大切だと思います。時に「自分」を受け止めるのが怖くなったりします。しかし、それを乗り越えたと自分を磨く事も少し楽になり、楽しく感じられると思います。このことから、「自分」という存在の大切さに気付きました。

20年後、私は、自信で満ち溢れているねと言われるくらい、「自分」を磨き、好きな事を永遠にし続けたいと思います。



糸島市立前原東中学校
島本 亜 紀

私は、今回の研修で、自分から進んで積極的に行動し、いろいろなことに挑戦していくことが大切だと学びました。

今までは自分から進んで行動することができなかったり、苦手なことには挑戦しませんでした。講師の方の話を聞いていくと、挑戦することできる良さがたくさんあると分かりました。学校や部活、糸島や地域の行事にも積極的に参加したいです。

今回の研修みたいに糸島のことを、たくさんの糸島市民が知ると、今まで知らなかった糸島の良さを知り、SNSなどで世界に発信する人も自然と増えるのではないかと考えました。だから、20年後の私は、糸島に誇りを持ち、たくさんの子どもたちに糸島の良さを体験を通して伝え、感動を与えられる人になりたいです。



糸島市立前原東中学校
麻生 莉玖

研修を振り返り、普段生活している中で、経営者の方々のお話を伺う機会はそこまで多くないと感じますが、この研修では短い期間で現在糸島で活躍されている方々のお話を伺うことができました。

特に面白いと感じた講義は平野友康氏の講義です。こちらの講義では、九州大学の西側に作られるSVIの話を中心に学びました。SVIがどういった思想で設計されたのか、どのような町を目指しているのかについて、非常に面白い講義を伺いました。

学んだことは、今後の学校生活や部活において、考え方を導入したり、将来的に何かを決定する場面になったときに今回の研修を思い出し、役立てていきたいと考えています。

20年後には、糸島に対して事業を起こしたり、地元の会社に就職するなど、何らかの形で地元貢献していきたいと考えています。



糸島市立前原東中学校
片倉 大河

私が研修を振り返って学んだことは、仲間とのチームワークです。なぜなら、みなさんの話を聞き、「仲間たちのおかげで〜」や「仲間たちの話を聞いて〜」などの話が多く、研修生たちの中でも1日目よりも2日目の方が楽しかったな〜と思ったからです。

学んだことをどう活かしていきたいかという、普段の学校生活では、班長会議などに研修で学んだことを活かしたいと思います。そして、日常生活では、例えば2日目最後の話で、「複利」のことは日常生活に活かせると思ったからです。

次に、20年後の自分はようになっていきたいかという、安定した生活を築いていきたいです。



糸島市立前原西中学校
桑代 紗雪

私はこの研修でリーダーの姿、リーダーになるために、今からすべきことを学びました。まず、研修で学んで考えたリーダーの姿は、他幸力があり、自分から行動する人だと考えます。他幸力とは、困っている人がいたら助け、相手も自分も幸せになる気持ちで、困っている人をすぐ助ける力は、リーダーにとっても必要なのではないかと思います。そして、自分から行動する姿は皆をリードして引っ張っていくような人もリーダーだと思います。

この研修で学んだことをこれからの学校生活に活かしていきたいと思っています。例を挙げると、2年生からの生徒会活動、部活の部長、係活動など、リーダーとして活動できるものはたくさんあるので、たくさんの経験をして理想のリーダー像に近づいていきたいです。

20年後私は、糸島の良さをたくさんの人々に伝えていけるように、糸島の課題も解決しながら、糸島の良さについて広められるような事業を起業したいなと考えています。今後どのように糸島の未来が進んでいくのかよく見て、自分でよい方向に引っ張っていききたいです。



糸島市立志摩中学校
水崎 里桜

私は、五日間の研修で多くのことを学びました。その中でも特に印象に残っていることが三つあります。

一つ目は、努力することです。講師の方々には様々な障壁に当たり、苦戦しながらも、オリジナリティのある人とは違う努力を、人の何倍も行っていることがわかりました。

二つ目は、他幸力・giverであることです。常に誰かのことを思い、仲間の成功は自分のことに嬉しく、支え合う環境では、進んで支える側となる。それでも、自分が支えられているということを忘れない。という姿や行動を持っていて、憧れる一面でした。

三つ目は、光輝く大人です。ディズニーランドのように誰もが行きたいと思うぐらい、キラキラしていて、誰もがついていきたいと思うぐらい光っていて、誰もが応援したいと思うぐらい輝いているなあと、強く感じました。

私は、これらの学んだことを、部活や生徒会活動、習い事などで、私なりに工夫して、より良く、具体的に活かしていきます。そして、20年後には、糸島市をほこり、皆が、協力したり、応援したりしてくれるような光輝く大人となり、諦めずに、挑戦、努力を継続していきます。



糸島市立福吉中学校
脇坂 鈴子

私は、5日間の研修で知らない人と交流する難しさを学びました。私の学校ではクラスが変わらないので知らない人と交流することがほとんどありません。だから、別の学校の人と一緒になって、「リーダー」について考えることができてよかったです。

また、講師の方々も知らない私達に向かって、とても堂々と話されている姿を見てすごくあこがれを持ちました。九大に行ったときには九大生が発表してくださって、私もこんなふうに話せるときはそんなに遠くはないのかなとも思いました。

この経験を活かして、生徒会に入っているので全校の前での発表で堂々と話すことができるように頑張りたいです。また、研修で学んだ「リーダー」とは何かを日頃から意識して生活していきたいです。私はこれから、今回のような経験をもっとして、考え方を広げ、20年後には自分の意見を大勢の前でも話せて、たくさんの人から信頼され、頼りになる人になりたいです。



糸島市立前原東中学校
三嶋 天寧

私は、「未来の地域リーダー」研修に参加して、「顔の見える本屋さん」への訪問が印象に残りました。

なぜなら、本を読むことが好きなので、珍しい本があるこの本屋さんは、宝探しみたいに探すことができたり、棚ごとのオーナーさんの個性が出ている本やPOPがあったりして、見ていて楽しかったからです。

また、オーナーの中村真紀さんの、「自分と違う意見を持つ人に対して、否定するのではなく、なぜそう考えるのかを想像してみることが大事だ」という考え方に大きな影響を受けました。

私は、今まで、どうして理解してくれないのだろう、と思う時もあったけど、中村さんの話を聞いて、相手の考えていることを想像して受け入れることが大事で、自分もそういう考え方をしていきたいと思いました。

私は、このような考え方を知ることができて、「未来の地域リーダー」研修に参加出来て本当に良かったと思いました。



糸島市立前原西中学校
宮口 誠太

私が今回参加した「未来の地域リーダー」で振り返って学んだこと、学んだことをどう活かしたいか、そして20年後に自分はようになっていきたいかを考えました。

まず振り返って特に学んだことは、糸島市の磯焼けの現状についてです。糸島の水産業の現状ではウニなどの増加によって磯焼けという、海の魚が減る問題がありました。その問題を解決しようと、九大生が「ウニウニ君」というウニを減らす取り組みを行って、糸島の水産業の課題を解決することを学びました。

次に学んだことをどう活かしたいかと言うと、最初に書いた水産業の課題の取り組みがあったら積極的に行って糸島に貢献するなどして、学んだことを活かしたいです。

最後に、20年後に自分はようになっていきたいかという、糸島に住み続けて、糸島の良さやイベント参加を積極的に行う人になりたいです。そしてもっと糸島について知っていきたいと思いました。



糸島市立二丈中学校
平野 滉太郎

この研修を通してわかった事は、まず糸島には素敵な人がたくさん居るということです。例えば、糸島に新しいまちを作ろうとする方や、糸島の良いところをSNSで発信している方など、この糸島をもっと良くして、もっと盛り上げたいという思いがとても伝わって来ました。

僕が今回の研修で学んだことはリーダーの姿です。僕が最初思っていたリーダー像は、みんなのお手本になる人だと思っていたんですが、今回の研修で出会ったリーダーの方々は、自分の好きなことをやって、その自分の好きなことに共感してくれる仲間が広がって、楽しみながら糸島を盛り上げている姿がありました。

20年後の僕も自分が楽しみながら、この糸島を盛り上げる活動をやりたと思います。僕は自然豊かな糸島で育つ、美味しい野菜、お肉、海産物といった、食材を通じたイベントを開いて、もっともっと糸島の良さを知ってもらい、楽しんでもらうことで、糸島が大きく発展させていけるリーダーを目指します。